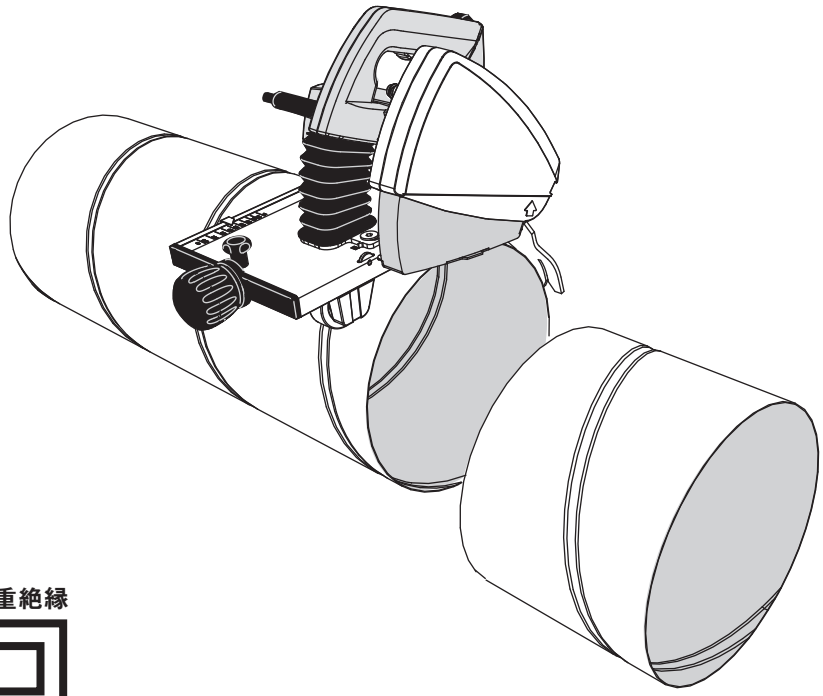
Asada
環境を守る親切ツール

丸のこ式パイプ切断機

ビーバーSAW V1000

取扱説明書



二重絶縁

PAT.P

（ご使用前には必ず本取扱説明書をお読みください。）

IM1302

ビーバー SAW V1000

このたびは、ビーバーSAWをお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取り扱いで本機の性能を充分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- 本機を使用用途以外の目的で使わないでください。
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
  - ・ご注文の商品の仕様と違いはないか。
  - ・輸送中の事故等で破損、変形していないか。
  - ・付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

※ 本書記載内容は改良のため、予告なしに変更することがあります。

目　次

電動工具安全上のご注意 …… 2

本機使用上のご注意 …… 5

1 各部の名称・仕様 …… 7
- 1-1 各部の名称 …… 7
- 1-2 仕様 …… 8
- 1-3 標準付属品 …… 8
- 1-4 別販売品 …… 8

2 使用方法 …… 9
- 2-1 ご使用前に …… 9
- 2-2 パイプの支持 …… 11
- 2-3 サイズ合わせ …… 11
- 2-4 ダクトパイプの切断 …… 12
- 2-5 斜断の修正方法 …… 15

3 刃の取付けと交換 …… 16
- 3-1 取外し方 …… 16
- 3-2 取付け方 …… 16

4 保守・点検 …… 17
- 4-1 刃物 …… 17
- 4-2 各部取付けねじの点検 …… 17
- 4-3 ベースと車輪 …… 17
- 4-4 保護カバー …… 17
- 4-5 パイプサポート …… 17
- 4-6 モータ …… 17
- 4-7 表面の汚れ …… 17
- 4-8 電源コード …… 17
- 4-9 製品や付属品の保護 …… 17
- 4-10 修理 …… 17

5 修理・サービスを依頼される前に …… 18

警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、2つのレベルに分類されます。

⚠ 警 告 誤った取扱をすると使用者、第三者が死亡又は重症を負う可能性が想定されることを表しています。

⚠ 注 意 誤った取扱をすると使用者、第三者が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

尚、注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

電動工具安全上のご注意

● 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
● ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
● お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警 告

1 作業場は、いつもきれいに保ってください。
● ちらかった場所や作業台は、事故の恐れがあります。

2 作業場の周囲状況も考慮してください。
● 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
感電の恐れがあります。
● 作業場は十分に明るくしてください。 暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
● 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。 爆発や火炎の恐れがあります。

3 感電に注意してください。
● ぬれた手で電源プラグに触れないでください。 感電の恐れがあります。
● 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
感電の恐れがあります。
※例えば、パイプ・暖房器具・電子レンジ・冷蔵庫などの外枠

4 子供を近づけないでください。
● 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。 けがの恐れがあります。
● 作業者以外、作業場へ近づけないでください。 けがの恐れがあります。

5 使用しない場合は、きちんと保管してください。
● 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
事故の恐れがあります。

6 無理して使用しないでください。
● 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
能力以上でのご使用は事故の恐れがあります。

7 作業に合った電動工具を使用してください。
● 指定された用途以外に使用しないでください。 けがの恐れがあります。

8 きちんとした服装で作業してください。
● だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
● 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
滑りやすい手袋や履物はけがの恐れがあります。
● 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⚠ 警 告

9 保護めがねを使用してください。
- 作業時は、保護めがねを使用してください。
  また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
  切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

10 防音保護具を着用してください。
- 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

11 コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱・油・角のとがった所に近づけないでください。

12 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
  転倒してけがの恐れがります。

13 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  損傷した刃物類を使用するとけがの恐れがあります。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合にはお買い求めの販売店あるいは弊社に修理を依頼してください。
  そのまま使用すると感電やショートして発火する恐れがあります。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  そのまま使用すると感電やショートして発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
  付いたまま使用するとけがの恐れがあります。

14 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物などの付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。
  本体が作動してけがの恐れがあります。

15 キーやレンチなどは、必ず取外してください。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
  付けたままでは作動時に飛び出してけがの恐れがあります。

16 不意な始動は避けてください。
- コンセントにつないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  本体が作動してけがの恐れがあります。
- 差し込みプラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

17 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠ 警 告

18 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法・作業のしかた・周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。 軽率な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
- 常識を働かせてください。
  非常識な行動をするとけがの恐れがあります。
- 疲れているときは,使用しないでください。 事故やけがの恐れがあります。

19 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態・部品の破損・取り付け状態・その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
  取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社に修理を依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

20 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので使用しないでください。

21 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

⊡二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる導体部と人の触れる外枠の間が異なる2つの絶縁物で絶縁されている構造で、作業者を感電事故から守ります。
本製品は二重絶縁構造となっており、銘板に⊡マークを表示しています。
異なった部品と交換したり、間違って組立てると、二重絶縁構造ではなくなり危険です。
電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は、お買い求めの販売店または弊社にご相談ください。

本機使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、丸のこ式パイプ切断機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警 告

1 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
- 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

2 本機はダクトパイプ、ボイド管の切断専用機です。他のパイプ等は切断できません。
- 他の材質のパイプを切ると、けがの原因になります。

3 可動式保護カバーは、円滑に動くことを確認してください。
- 刃物が露出したままだと、けがの原因になります。

4 刃物は、純正製を使用してください。

5 水平な場所にパイプサポートを置いてください。
- パイプサポートが不安定だと、けがの原因になります。

6 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みで刃物がはさみつけられないように、パイプサポートを必ず使用してください。
- 刃物がはさみつけられると、けがの原因になります。

7 本体はパイプに正しく取付けてください。
- 斜めに取付けると、けがの原因になります。

8 使用中は、本体を確実に保持してください。
- 確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。

9 使用中は、刃物や回転部、切くずの排出部へ手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。

10 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または弊社に点検・修理を依頼してください。
- そのまま使用していると、ケガの原因になります。

11 誤って落としたり、ぶつけたときは、刃物や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

12 切断材料は確実に固定してください。
- 固定が不十分だと切断材料が飛んだり、刃物が破損する原因になります。

13 金属を切断する時は、引火しやすいもの・傷つきやすいものは、遠ざけてください。
- 切りくずは高温になり、また切断火花も発生します。
- 切りくずなどを直接手足などに当てると、けがの原因になります。

14 切削油などを付けて切断しないでください。
- 切削油、研削液およびワックスなどの種類によっては、切断時の火花で発火する場合があります。

15 切断材料の厚みに応じて刃の出し代を調整してください。
材料に対して、刃先が3ミリ程度出るようにサイズ調整ハンドルを回してください。
- 刃の出し代が多いと摩擦面が増え、本機に負荷が掛かり、反動でケガをする恐れがあります。

⚠ 警 告

16 キックバック(反動)を起こさないように切断してください。
刃物が材料に噛んだ場合や切断が妨げられた場合、丸のこは反動で跳ねて作業者側に飛んできます。
非常に危険ですので、キックバックが起きないように注意して切断してください。
使用する場合は、丸のこの後ろに立たないで横方向で作業をしてください。

【キックバックの防止方法】

- パイプサポートを適切に使用し、切断終了時、刃物がパイプに挟み込まれないようにする。
- 大口径(φ140㎜以上)の切断や面取りをする場合は、反動に耐えられるように本機をしっかりと握る。
- 刃物が材料に噛んだ場合や切断が妨げられた場合は、本機を持ち上げずにスイッチを離して、材料の中で刃物が完全に停止するまで保持する。
- 切断途中に停止した場合、切断位置ロック解除ボタンを押して刃物を持ち上げ、空転させてから再度切り始める。
  材料に当てたままスイッチを入れると大変危険です。確実にキックバックが起きます。
- 切れ味の悪い刃物や刃欠けした刃物を使わない。
  切れ味が悪いと過度な摩擦が生じ、刃物がキックバックすることがあります。

⚠ 注 意

1 刃物類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
● 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

2 刃物にヒビ・割れ・変形などの異常がないことを確認してから使用してください。
● 異常があると刃物が破損し、ケガの原因になります。

3 切断材料がパイプ径に適した刃物かどうか確認してください。
● 適した刃物を使用しないと、本機や刃物の破損の原因になります。

4 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
● 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

5 作業前に、人のいない方向に刃物を向けて空転させ、機体の振動や刃物の面振れなどの異常がないことを確認してください。
● 異常があると、けがの原因になります。

6 切断するパイプ内は空であることを確認してください。
● 強い反発力が生じ、けがの原因になります。

7 切断しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。
● 手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。

8 回転する刃物で、コードを切断しないよう注意してください。
● 感電の恐れがあります。

9 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
● けがの原因になります。

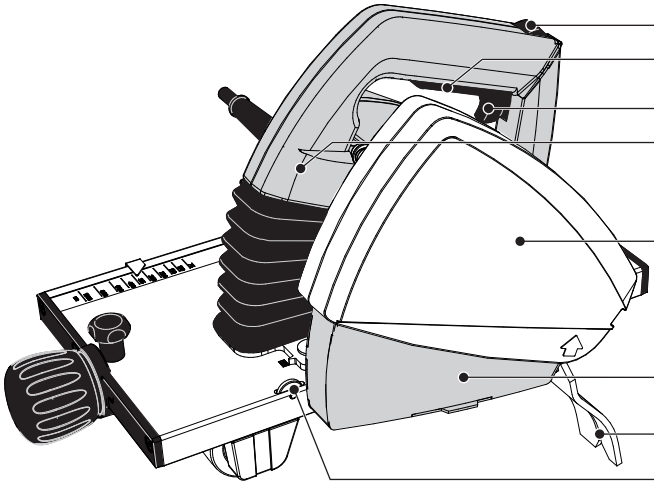
10 切りくずは満杯になる前に早めに捨ててください。

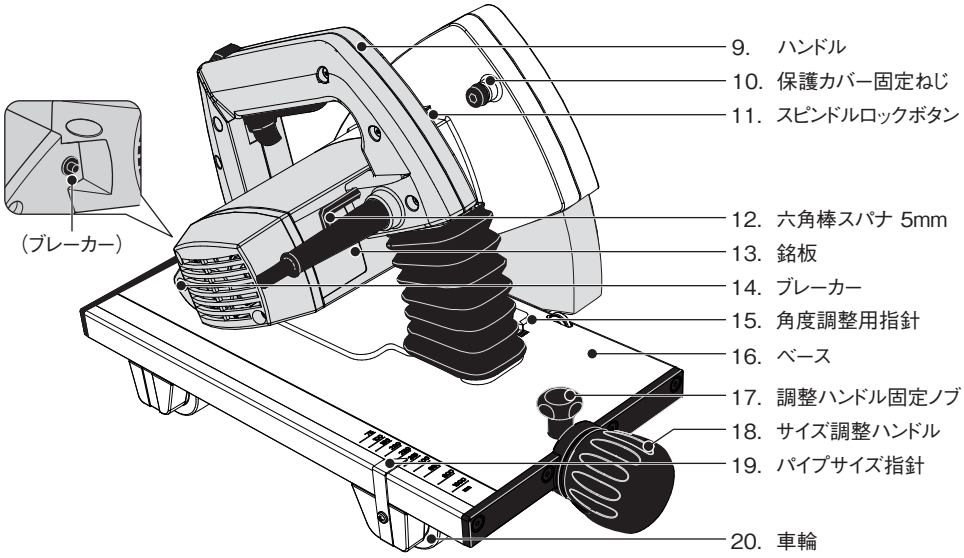
11 本体のロッキング機構が正常に作動することを確認してください。
● 本体がロックできないとけがの原因になります。

12 発電機を使用する場合は、機械本体の銘板に表示されている消費電力(W)のおおよそ3倍以上のものを使用してください。

1 各部の名称･仕様

1-1 各部の名称

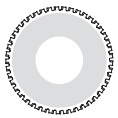




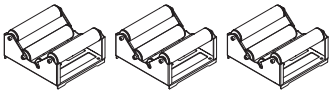
1-2 仕　様

品　名	ビーバー SAW V1000	ビーバー SAW V1000
コードNo.	**EX1000**	**EX1000S**
切断能力	φ75～600mm	
最大肉厚	1.5mm / 6mm（ハゼ部）	
モータ	100V　50/60Hz　1010W	
回転速度	4000min^{-1}	
使用率	25%	
質　量	6.7kg	
サイズ（L x W x H）	L400 x W230 x H210mm	

1-3 標準付属品



ビーバー SAW 超硬
EX7010498 B155V



パイプサポート
（V1000Sに付属）　**EX7010464**

キャリングバッグ
EX1183400

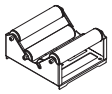
六角棒スパナ
86003（5mm）

保護メガネ
EX60810

取扱説明書
IM0229

	品　名	個　数	コードNo.
標準付属品	ビーバー SAW 超硬 B155V	1	EX7010498
	パイプサポート（V1000Sに付属）	3	EX7010464
	六角棒スパナ 5mm	1	86003
	保護メガネ	1	EX60810
	キャリングバッグ	1	EX1183400
	取扱説明書	1	IM0229

1-4 別販売品

品　名	ビーバー SAW サーメット B155V 	パイプサポート × 3 
コードNo.	**EX7010498**	**EX7010464**
サイズ（外径 x 軸径）	150mm x 65mm	ー
用　途	スパイラルダクト（亜鉛、リブ付き、ステン） ボイド管の切断	φ75 ～ 600mm のパイプ受け

2 使用方法

2-1 ご使用前に

⚠ 警 告

ご使用前に次のことを確認してください。
①～③項については、差し込みプラグを電源に差し込む前に確認してください。

①使用電源を確かめる

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。
表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり、機体が破壊する恐れがあります。
また、直流電源、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。
製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。
発電機を使用する場合は、機械本体の銘板に表示されている消費電力のおおよそ3倍以上のものを使用してください。

②刃物の締付けを確かめる

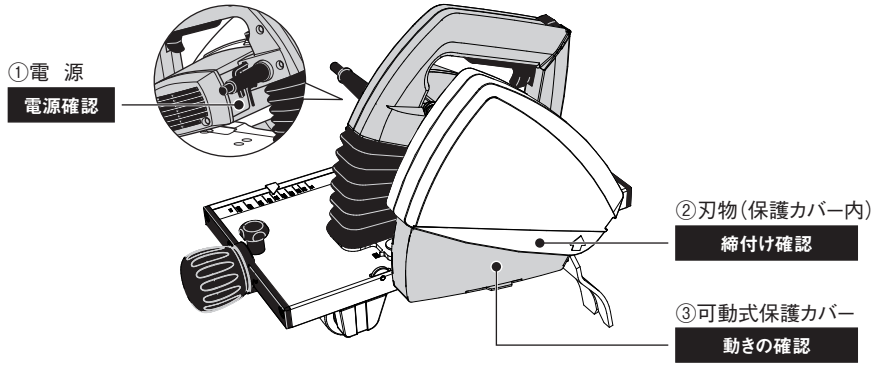
工場で組立の際は、すぐご使用できるように刃物を締付けてありますが、念のため確かめてください。
P16.「3 刃の取付けと交換」の項をご参照のうえ、ボルトが十分に締まっていることを確認してください。

③可動式保護カバーの動きを確かめる

⚠ 警 告

可動式保護カバーは、円滑に動くことを確認してください。
刃が露出していると、けがの原因になります。

可動式保護カバー（下図③）は、身体が刃に触れるのを防ぐものです。
必ず刃をおおうように円滑に動くことを確認してください。
万一可動式保護カバーが円滑に動かない場合は、決してそのままお使いにならないでください。
この場合は、お買い求めの販売店あるいは弊社に修理を依頼してください。



④スイッチの始動・停止を確かめる

スイッチは常にロックされており、スイッチロック解除レバーを前方に押しながら引金を引くと、モータが始動します。
（P12 2-4参照）
スイッチの引金を引き、モータが始動・離して停止することを確認してください。

⑤電源コンセントの点検

差し込みプラグを差し込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。
お近くの電気工具店などにご相談ください。
そのままお使いになると、過熱して事故の原因になります。

⑥使用率25%

使用率25%とは、10分間のうち2.5分間切断作業を行い、7.5分間切断作業を休止して使用するという意味です。
使用率をオーバーして使用し続けると、モータが発熱し損傷する恐れがあります。

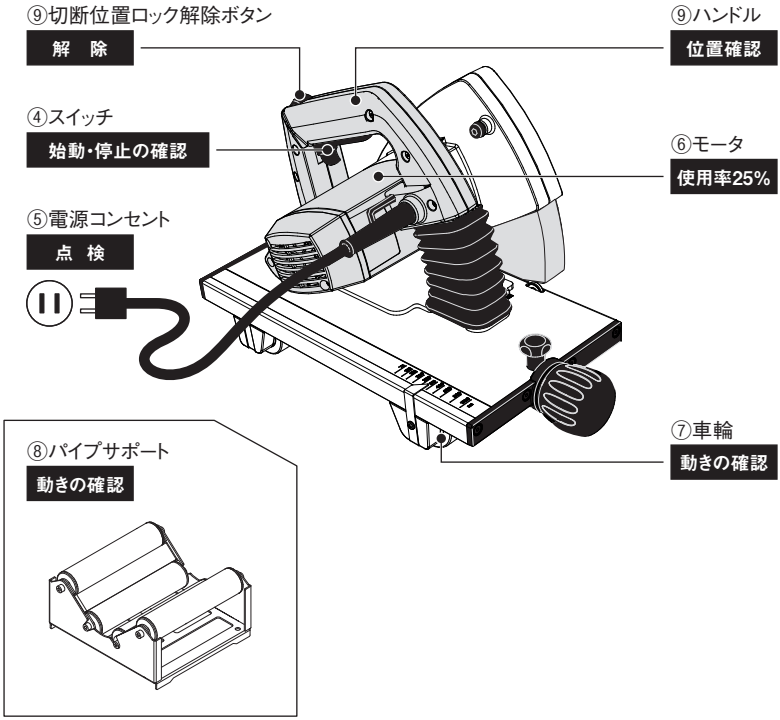
⑦車輪の動きがスムーズか確かめる

動きが悪い場合、斜断の原因となります。
車輪の周りを清掃してください。

⑧パイプサポートのローラーが回転するか確かめる

動きが悪い場合は、清掃してください。

⑨切断位置ロック解除ボタンが解除されており、ハンドルの位置が上部にあるか確かめる



2-2 パイプの支持

ダクトパイプを転がせて切ることができますが、パイプサポート（V1000は別販売品）を使用することをお勧めします。パイプサポートを使用すると安全に切断でき、精度も良くなります。
また、切断スペースを最小限にすることができます。

① 平らな地面に設置してください。

② 3個のパイプサポートを使い、中央のパイプサポートの中間に切断位置がくるようにパイプを置いてください。

※ 全てのローラーがパイプに当たっているか確認してください。

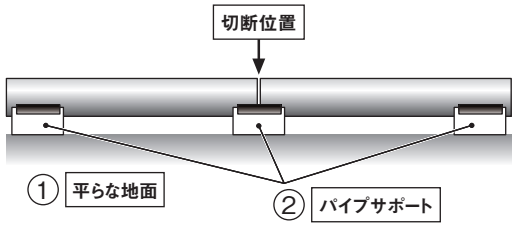
③ ハゼ部の折り曲げの方向から切断するように本機をセットしてください。

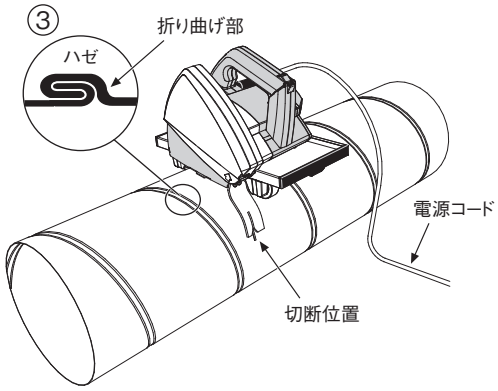
※ パイプサポートを使用しない場合は、パイプを回転させるスペースを確保してください。

※ 電源コードはパイプの前方（転がす方向の反対側）に置いてください。

※ 電源コードはパイプを転がし終えるのに充分な長さを確保してください。

※ 必要に応じて延長コードをご使用ください。





2-3 サイズ合わせ

① 調整ハンドル固定ノブをゆるめてください。

② サイズ調整ハンドルを反計方向に回して車輪の幅を広げ、ダクトパイプのサイズに目盛りを合わせてください。

※ 目盛りは目安です。

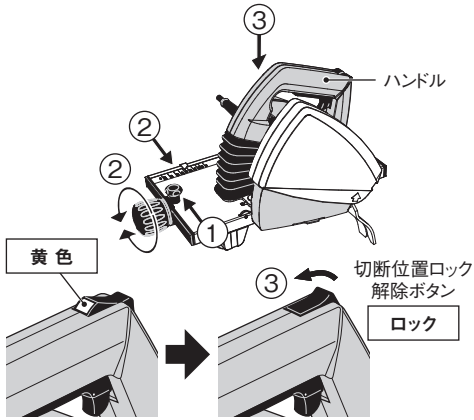
③ ハンドルを下に押して本機をロックします。
黄色のマークが見えなくなります。

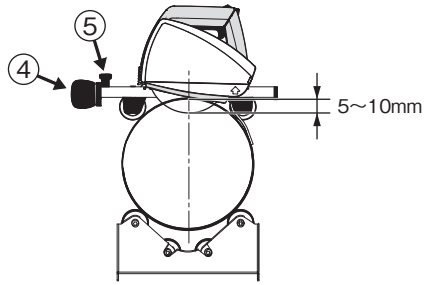
④ 本機をダクトパイプの上に載せ、パイプの端面に刃物を合わせ、刃先がパイプの中に5 ～ 10mm出るようにサイズ調整ハンドルを回してください。

※ パイプの肉厚が薄い場合、本機の重さによりパイプが変形し直径が大きくなります。サイズ調整ハンドルを反計方向に回してのこ刃の切断深さを確保してください。

⑤ 調整ハンドル固定ノブを締付けてください。

⑥ 切断位置ロック解除ボタンを前方に押してロックを解除してください。





2-4 ダクトパイプの切断

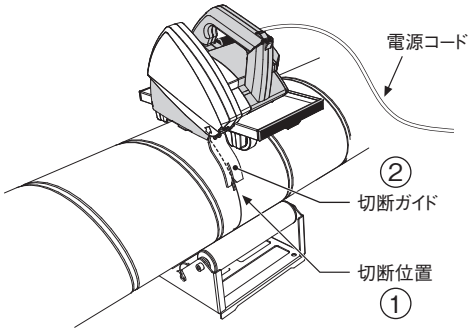
⚠ 警 告

- **本機はダクトパイプ、ボイド管の切断専用機です。他のパイプ等は切断できません。他の材質のパイプを切るとけがの原因になります。**
- **作業場周辺に人がいないことを確認してください。切粉が飛んで身体に当たり、けがをする恐れがあります。**
- **本機の周りに囲いを設置してください。切粉の飛びを防ぐことができます。**

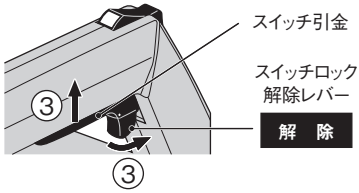
① ダクトパイプに切断位置をマークします。

② 本機をダクトパイプの頂上に載せ、マークした切断位置に切断ガイドの切込みを合わせます。

※ 安全のため、電源コードは本体の左側にしてください。



③ ハンドルを右手でしっかりとつかみ、スイッチロック解除レバーを人差し指で前に押しながら、スイッチの引金を引いてください。

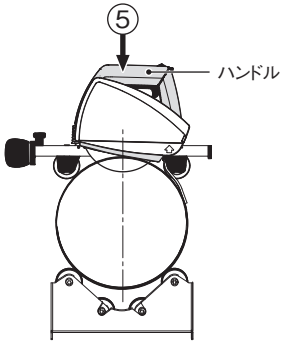


④ 刃がフル回転になるのを待ってください。
切断中はスイッチを完全に引き続けてください。

⚠ 警 告

- **ビーバー SAW本機の回転を十分に上げてから、切断してください。パイプに当てたまま起動させると、刃先に負担がかかり刃物が破損し、大けがの恐れがあります。**

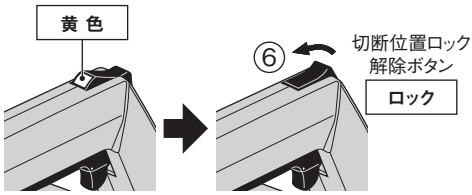
⑤ 左手でダクトパイプを固定し、刃がダクトパイプの厚みを貫通するまでハンドルを下方向にゆっくりと押し続けます。



⚠ 注 意

- **ハンドルを強く押しつけて切断しないでください。刃物の寿命が極端に短くなる、あるいは刃物破損の原因となります。また、モータがロックなどを起こし、機械トラブルを誘発します。**

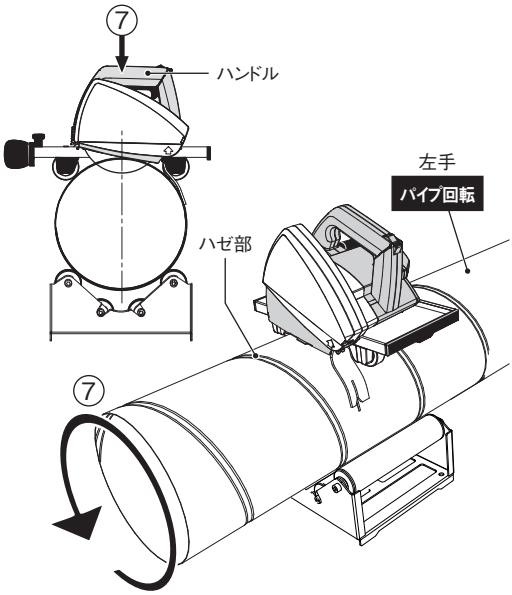
⑥ 切断位置ロック解除ボタンが「ロック」の位置に戻り、刃は切断位置で固定されます。
（黄色のマークが消えます。）



⑦ 本機をダクトパイプの頂上に維持したまま軽く下に押し付け、左手でダクトパイプを手前の方向に回転させて切断をします。
パイプが切り落とされるまで、できるだけ一定な速度で回転させてください。

※ ハゼ部はゆっくりと切断してください。

※ 振動を感じたり、切れ味が悪くなった時は、刃物を交換してください。

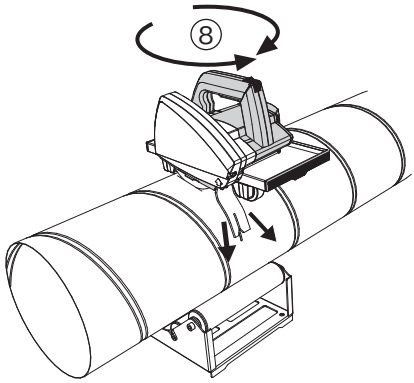


⚠ 注 意

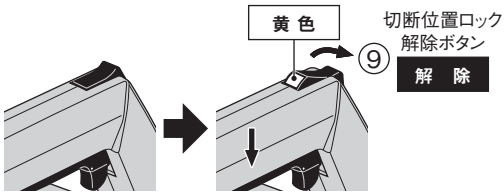
- **材質や肉厚によってパイプを回す速度を加減してください。パイプを回す速度が速過ぎると、のこ刃の損傷、切断精度に影響を及ぼします。**
- **安全かつ精度よく面取りをするために、パイプはゆっくりと回してください。**

⑧ 切断開始ポイントと終了ポイントの位置が合わない場合は、本機を右または左に徐々に方向を変えながら、切断開始ポイントの位置に刃物を戻してください。
段差がなくなります。

※ 「途中で中断する」「異常音・振動で切断中に問題が生じた」「ブレーカーが作動した」場合は、切断位置ロック解除ボタンを押してください。本体が持ち上がり、切断開始位置に戻ります。
切断を中断した原因が解決されたら、再度切断します。

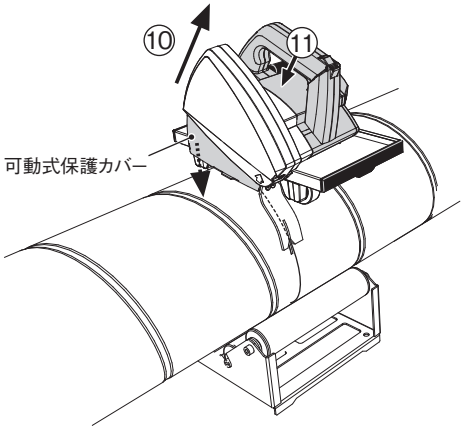


⑨ パイプが完全に切断されたら、切断位置ロック解除ボタンを前方に押して、ロックを解除します。
（黄色のマークが 見えます。）



⑩ ハンドル部は切断開始の位置に上昇します。

⑪ スイッチを放して電源を切ります。



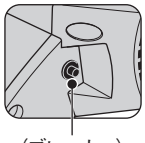
⑫ 刃物の回転が止まったら、本体をパイプから下ろします。

⚠ 注 意

- **可動式保護カバーが安全な位置まで下りていることを確認してください。**
- **使用後は車輪やベースを清掃してください。**
  切り粉が車輪に付着すると正しく切ることができません。

過負荷保護装置

モータにはブレーカが付いています。
刃物の切れ味が悪かったりスピードが速すぎる場合は、自動的に電源が切れます。
ブレーカを押すと復帰します。

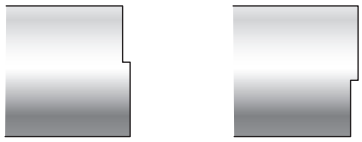

（ブレーカー）

2-5 斜断の修正方法

切断精度は多くの要因に影響されます。
例えば、ダクトパイプのサイズ、材質、厚み、ダクトパイプ表面の品質、真円性、継ぎ目、刃の状態、送りの速さ、作業者の経験などです。

このため切断結果は様々で、切断が右(a)や左(b)に曲がる(切断開始ポイントと終了ポイントのズレ)ことがあります。(右図)

(a) 右方向へのズレ　(b) 左方向へのズレ



調整は実際に切断するダクトパイプのサイズと材質に影響され、のこ刃の摩耗等により再調整が必要になる場合があります。

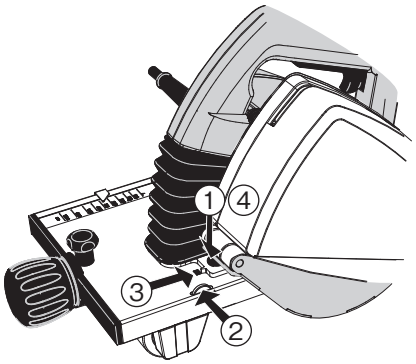
【調整方法】

① 付属の六角棒スパナ5mmを使用して、固定ボルトをゆるめます。

② 角度調整ホイールを回すとモータユニットが左右に動きます。
(a) 右方向へのズレ: 角度調整ホイールを前方に回す
(b) 左方向へのズレ: 角度調整ホイールを手前に回す

③ 角度調整用指針を目盛りに合わせて調整してください。

④ 固定ボルトを締付けます。



3 刃の取付けと交換

⚠ 警 告

1 万一の事故を防止するため、必ずコンセントからプラグを抜いてください。
2 ボルトの脱着は付属の六角棒スパナ5mmで作業してください。
● 付属以外の工具を使用すると、締過ぎや締付け不足になり、けがの原因になります。

3-1 取外し方

① 保護カバー固定ねじをゆるめます。

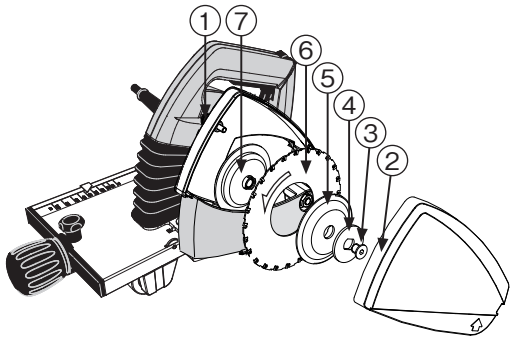
② 保護カバーを外します。

③ スピンドルロックボタンを押しながら付属の六角棒スパナ5mmを固定ボルトに差し込み、刃物がロックされるまでスピンドルを回します。
これで刃物の回転が止まります。

スピンドルが固定されたら六角棒スパナ5mmを反時計方向に回して、固定ボルトを外します。

④ フランジワッシャを取外す。
⑤ フランジFを取外す。
⑥ のこ刃を取外す。
⑦ フランジRを取外す。

※ のこ刃を取付けるまえにフランジFとRを清掃してください。



3-2 取付け方

⚠ 注 意

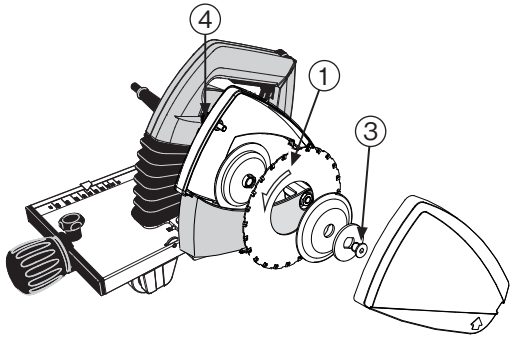
差し込みプラグを電源コンセントに差し込む前に、スピンドルロックボタンが元に戻っており、刃が円滑に回転することを確かめてください。

① 刃のマークのある側を外側に向け、刃の矢印がカバーの矢印方向と一致するように取付けます。

② 取外し方と逆の手順で行ってください。

③ 固定ボルトは十分に締付けます。

④ 保護カバーの穴を本体の突起部に合せながら、保護カバー固定ねじを締めます。



4 保守・点検

⚠ 警 告

点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、差し込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

4-1 刃物

⚠ 警 告

切味の悪くなった刃はそのまま使用しないでください。
無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、
けがの原因になります。

切味が悪くなった刃をそのままご使用になるとモータに無理をかけるほか、能率も落ちるので早めに研摩するか、新品に交換してください。

4-2 各部取付けねじの点検

各部取付けねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。
もし、ゆるんでいるところがあれば締め直してください。

4-3 ベースと車輪

ベース裏面と車輪は、コンプレッサーのエアーまたはホウキなどで定期的に清掃してください。

4-4 保護カバー

保護カバーは定期的に清掃し、可動式保護カバーの動きを妨げないように特に注意してください。

4-5 パイプサポート

ローラー部に切粉などが付着すると、切断精度が悪くなるので定期的に清掃してください。

4-6 モータ

モータの冷却穴はきれいにしておいてください。

4-7 表面の汚れ

機体の外枠は合成樹脂なので、ガソリン・シンナー・石油・灯油類で清掃すると表面が変色します。
清掃の場合は、乾いた布か石けん水をつけた布などで拭いてください。

4-8 電源コード

電源コードの状態は定期的にチェックしてください。
傷んだ電源コードは常に認定を受けた修理店で交換してください。

4-9 製品や付属品の保護

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
- 軒先など雨がかかったり、湿気のある場所
- 温度が急変する場所
- 直射日光の当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

以上のような場所には保管しないでください。

4-10 修理

本機は厳密な精度で製造されています。
お客様自身による修理は決して行わないでください。
もし正常に作動しなくなった場合は、お買い求めの販売店または、弊社までご用命ください。

5 修理・サービスを依頼される前に

① 斜め切断になる。

原　因	対　策
● ブレードの刃先が磨耗している。	● 新しいのこ刃と交換する。 ● のこ刃を再研磨する。
● 切断技術・経験不足	● 管種（材質、硬度、肉厚、外径）とブレードの種類によって熟練が必要。 ● 十分に切断訓練をする。
● 車輪が回転しない。	● ベース裏面と車輪を清掃する。
● 電圧の低下	● 必ず十分な電圧を確保する。 ● 延長コードは太いものを使用。
● パイプの外側表面が汚れている。 パイプが変形している。	● 汚れを掃除してからパイプサポートに載せる。 ● 極端に変形しているパイプは変形部を避けて切断する。
● ブレード固定ボルトの締め付け不足。	● 固定ボルトを増し締めする。 ● 締め過ぎも斜断の原因になる。
● ブレード、フランジ、ワッシャ、ボルト、車輪の間に切粉などがはさまっている。	● 切粉やゴミなどの異物を取除く。
● フランジが変形・摩耗している。	● フランジを交換する。
● 車輪やパイプサポートのローラー部に切粉などが付着している。	● 清掃して切粉などを取除く。
● 切断時の送り速度が適正でない。	● モータに過負荷がかからないように、適正な送り速度で切断する。

※ 斜断の修正は P15.「2-5 斜断の修正方法」をご参照ください。

② 刃物の寿命が短い。

原　因	対　策
● 貫通時の力のかけ過ぎ。 ● 切断スピードが速過ぎる。 ● ハゼ部の切断スピードが速い。	● 火花が出ないような力で押しつける。 ● ブレーカが作動しない力で切断する。 ● ハゼ部の切断スピードをゆっくりと一定の速度に保つ。

③ 切断位置ロック解除ボタンがロックされた時に、ボタンが固くて前方に押してもロックが解除できない。

原　因	対　策
● ロック機構のフックが外れていない。	● ハンドルを下に押しながら、 同時に切断位置ロック解除ボタンを前方に押す。

④ 切断終了後、のこ刃がはさみ込まれてモーターが止まる。（のこ刃損傷の原因）

原　因	対　策
● パイプサポートのセッティングが正しくない。	● パイプサポートを正しセットする。
● 切断する位置が正しくない。	● 切断はパイプサポートの中間で行う。（P11 参照）
● パイプサポートのホイールがパイプと接触していない。	● 平らでない場所では、木などを使ってパイプサポートの ローラーがパイプに接触するようにする。

⑤ 始動時、のこ刃がパイプに接触しており、のこ刃を損傷した。

原　因	対　策
● のこ刃が切断位置でロックされたまま切断作業を開始した。	● 切断後、ロックを必ず解除し、ハンドルの位置を上部に戻す。 ロック位置を解除し、のこ刃が切断開始の位置（上部）に 上昇した後にスイッチを OFF にする。

●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号　：
購入年月日:　　年　　月　　日
お買い求めの販売店

Asada アサダ株式会社

本　社／名古屋市北区上飯田西町3-60　TEL(052)911-7165　E-mail:sales@asada.co.jp

支　店／東京・名古屋・大阪
営業所／札幌・仙台・さいたま・横浜
広島・福岡

www.asada.co.jp

海外事業所
アサダ・タイランド社　(バンコク)
台湾浅田股份有限公司　(台　北)
アサダ・アーロンコ マシナリー社　(クアラルンプール)
アサダ・ベトナム社　(ホーチミン)
アサダ・インド社　(ムンバイ)
上海浅田進出口有限公司　(上　海)
アサダ USA　(オレゴン州・ユージン)

工　場
犬山工場　(愛知県・犬山市)
第一精工株式会社　(松　阪　市)
アサダ・マシナリー社　(バンコク)

コードNo. IM0229
MEE